

令和4年6月

川口市民選手権
新型コロナウイルス感染防止ガイドライン「新しい大会様式」

川口市水泳連盟

本予防策は、(公財)日本水泳連盟が提示した「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」を参考に作成したものである。本連盟は下記の事項を実行し、感染予防に努める。

【主催者が実施する事項】

1 要項の準備について

- (1) 競技会要項・本ガイドライン等で、感染拡大予防に関する下記の周知を行う。また、以下の事項に該当する場合は、来場及び大会に参加することができない。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳(せき)、喉の痛み等の風邪の症状
 - ・だるさ、倦怠感（体が重く感じる、疲れやすい等の症状）
 - ・息苦しさ（呼吸困難）や嗅覚・味覚の異常
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触の疑いがある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・所属するスイミングクラブ、学校、会社等が臨時休業の場合
- (2) 健康管理について
 - ・健康観察票を使用し、大会2日前から当日朝までの健康状態を確認する。
 - ・健康観察票は当団体で2週間、厳重に管理・保管し、その後、個人情報の漏れがないように処分する。
 - ・大会後も検温を続け、参加チームの責任者は選手の事後の健康観察を行う。また、各チームの引率者や大会役員も同様に健康観察を行う。
- (3) 「健康チェック票及び同意書」を使用し、保護者の同意のもと、大会を行う。
- (4) 参加人数について
 - ・無観客競技会とし、保護者及び応援のみの参加者の入場は禁止とする。
 - ・役員の人数を削減し、最小人数で競技運営にあたる。
 - ・補助役員を配置しない。

2 施設準備・対応について

(1) 本ガイドラインを事前に参加者に配布し、各チームから説明を行う。

(2) 入場時の対応

- ・チーム受付、健康観察票の提出が完了したチームから入場する。
- ・入場時に主催者側で用意した手指消毒液での消毒を実施する。

(3) トイレ

- ・手洗い場には石鹸もしくはポンプ型ハンドソープを用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い場のハンドドライヤーは使用禁止にする。
- ・手洗い後に使用するためのマイタオルの持参を求める。
- ・手指消毒液を適切な場所に設置する。
- ・トイレの蓋を閉めてから汚物を流すようにすることとする。

(4) 更衣室

- ・ジュニアとマスターズの更衣室を分けることで密を避ける。
- ・朝のアップ時は混雑が予想されるため、場合によっては一度に入室する利用者の数を制限する。
また、自宅で着替えてくるなど、あらかじめ短時間で更衣が完結する工夫を行うように協力を要請する。
- ・室内またはスペース内で複数の入場者が触れると考えられる場所（ドアノブ・ロッカーの取手・テーブル・椅子等）については、役員が休憩時間及び競技終了後に消毒する。
- ・換気扇を常に回していただくよう、施設に依頼する。
- ・更衣室のロッカーは、使用禁止とする。
- ・更衣室に入場するときは必ず手指消毒を行う。

(5) 招集所・招集所前の待機スペース

- ・ジュニアは卓球場、マスターズはプール観覧席を招集所とすることで、広さにゆとりを持ち、密になることを避ける。
- ・招集所、プール入口前の待機スペースでは、できる限り少人数での選手待機とする。
- ・タイムテーブルにゆとりを持ち、さらに、組ごとに開始時間を明記し、招集所に待機することがないようにする。
- ・招集所にアルコール等の手指消毒液を用意する。
- ・選手はマスクや衣類等の荷物を入れる袋を持参し、脱衣ボックスには袋ごと入れるようにする。
選手椅子に載せたり、脱衣ボックスに直接服等を入れたりしない。
- ・招集所でもマスクを着用させるが、招集所からプールに出るときはマスクを外して、衣類内のポケットか袋に入れることとする。

(6) 練習時の対応

- ・朝の練習時は、レーンに入る人数が均等になるように呼びかける、種目ごとに時間を区切るなど、密な状況を避ける対策をとり、役員が指示を行う。
- ・選手は、各レーン内で待機する時間が少なくなるようにし、会話をしない。
- ・選手が、スタート練習で並ぶ場合は、会話をせず、人と人との距離をとる。
- ・選手は、泳ぐとき以外はマスクを着用する。唾や痰を吐くことは行わないとする。
- ・監督の大声での指導、ホイッスルの使用（電子ホイッスルは可）、監督同士の会話を控える。
- ・競技中にメインプールを開放してアップ及びダウンの時間を確保する。また、サブプールはダウンのみの使用とすることで密を避ける。
- ・ジュニアの競技中の動線を各チーム控え場所→更衣室（体育館）→招集所（卓球室）→電光表示下通路→サブプール（児童プール）→更衣室（体育館）→各チーム控え場所の一方通行とする。マスターズの競技中の動線を各チーム控え場所→更衣室（プール）→招集所（スタンド）→プール（スタンドからの階段を使用）→サブプール（児童プール）→更衣室（プール）→各チーム控え場所の一方通行とする。ただし、朝や競技間のアップ練習の際は更衣室からプールへ直接、入場してもいい。（サブプールはダウンのみとするので、レース直後の選手のみが利用する。）

(7) 選手控え場所の対応

- ・各校が控え場所を使用する手指消毒液を持参すること。
- ・選手控え場所は、できるだけゆとりをもって設置し、場所を指定する。
- ・選手は、マスクを着用する。
- ・選手の応援は禁止し、会話を控えて待機する。
- ・飲み物の回し飲みはしない。
- ・エレベーターの使用を禁止する。
- ・1階自動販売機前の椅子の使用を禁止する。

(8) 換気・水質

- ・換気設備を適切に運転し、定期的に窓を開けて外気を取り入れる等の換気も行う。
- ・プールの水質基準を適切に管理できるように施設職員と連携を図る。

(9) ゴミは各自持ち帰りとする。

(10) 清掃・消毒

- ・東スポーツセンターの指示に従い、顧問による清掃及び消毒を行う。
- ・通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境を、入場前・退場後に清拭消毒する。

(11) 発熱者が出た場合の隔離室（1階談話室）を確保する。

(1 2) 飲食について

- ・昼休憩時間を設け、役員が食事を摂取する際には十分な距離をとり、対面しないように摂取する。
選手はレース時間に応じて昼食をとるが、食事中的会話は控える。
- ・選手は指定された場所で食事をとり、マスク飲食を行う。

(1 3) 開会式・閉会式・表彰式について

- ・開閉会式は実施せず、開始式のみとし、審判長諸注意と会場使用の説明を行う。
- ・記録速報は掲示しない。インターネットによる超速報のみとする。
- ・表彰式は実施しない。賞状・記録証はチーム代表者が賞状受取所（2階研修室前）に取りに来る。

(1 4) 競技終了後

- ・記念撮影は控え、速やかに帰路につく。
- ・チームミーティングは行わない。

3 競技役員について

- (1) 打ち合わせ事項については、プログラム編成会議等で事前に周知する。
- (2) 当日の打ち合わせは必要最低限とし、紙面を活用する。
- (3) 競技役員椅子の配置（審判長・出発・泳法・折返・計時・記録・通告等）については、間隔を保つように設置する。
- (4) トランシーバー・マイクは必要な人員が1人1個身に着け、終了後に消毒を行う。
- (5) 計時員が使用するストップウォッチは貸し出し、使用後に消毒する。
- (6) 審判長は電子ホイッスルを使用する。

4 その他

- (1) 大会本部は来場者を把握し、濃厚接触者の把握及び報告を早急に行う。
- (2) 本予防策について、順守されているか定期的に巡回・確認する。
- (3) 必要な取り組みを適宜付加し、場内アナウンス・電光表示等で徹底を図る。
- (4) 退場後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告するよう周知する。
- (5) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、会話などに留意すること。
- (6) 入場から帰宅までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

新型コロナウイルス感染防止策 新しい大会様式 チェックリスト

【選手・顧問が順守すべき事項】

1 入場前

□競技会要項・本ガイドライン等で、感染拡大予防に関する下記の周知を行う。また、以下の事項に該当する場合は、来場及び大会に参加することができない。

- ・平熱を超える発熱
- ・咳(せき)、喉の痛み等の風邪の症状
- ・だるさ、倦怠感（体が重く感じる、疲れやすい等の症状）
- ・息苦しさ（呼吸困難）や嗅覚・味覚の異常
- ・新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触の疑いがある場合
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・所属するスイミングクラブ、学校、会社等が臨時休業の場合

□「健康チェック票及び同意書」に必要事項を記入し、持参・提出すること。

□泳ぐとき以外はマスクを着用すること。

□ガイドライン、チェックリストを事前に選手に配布し、各チームで説明を行うこと。

□泳ぐ際に外したマスクを入れる袋、脱いだ衣類を入れるバッグ、靴を入れる袋（トートバッグなど）を持参すること。

2 施設

□全ての場面で、人との距離(できるだけ2m以上)をとって行動すること。

□入場時に大会本部で用意した手指消毒液での消毒をすること。

□自宅でアップ用の水着を着込んで来場すること。

□選手動線を守ること。

□サブプール（児童プール）はレース直後のダウンのみに使用すること。

□練習時に各レーン内で待機する場合やスタート練習で並ぶ場合も距離を保ち、会話をしないこと。

□選手控え場所では、人との距離・座席間の距離を保ち、会話を控えること。

□レース前にはずしたマスクは、衣類のポケットか袋に入れること。脱いだ衣類はバッグに入れること。

（マスク・衣類は、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない。）

□こまめな手洗い、手指消毒液等による手指消毒を実施すること。

□競技役員との受け答えを除き、招集所での選手間の会話、レース直後の選手間の会話はしないこと。

□唾や痰は吐かないこと。

□飲食中は会話をしないこと。

大声での会話・応援をしないこと。監督・コーチは、大声での指示、ホイッスルの使用を控えること。

なお、応援は拍手のみとし、アップ時の電子ホイッスルの使用は可能とする。

トイレでは、ハンドドライヤーは使用せず、自らが持参したタオルで手を拭くこと。

飲み物の回し飲みはしないこと。また、飲みきれなかったものは、持ち帰ること。

エレベーターは使用しないこと。

指定された待機場所以外では待機しないこと。（1階自動販売機前の椅子の使用を禁止する。）

組ごとに開始時間を明記するので、招集所に長い時間、待機しないこと。

水分をこまめに取り、脱水症状に気をつけること。

競技会主催者が決めたその他の措置に従うこと。

競技会主催者の指示に速やかに従うこと。

3 退館後

退館後 2 週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、競技会主催者に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。